

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称	
352.8	家族介護者交流事業	01	01	一般会計		
		03	03	民生費		
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える	02	02	老人福祉費	
			01	01	老人福祉総務費	
担当部課名	健康福祉部 高齢障害課		102	102	在宅老人援護事業	
作成者氏名	榊 光裕	連絡先	22-9657	06	06	介護予防・生活支援事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	高齢者を介護している家族等	介護者の交流、介護者に対するリフレッシュ事業等を行うことにより、高齢者を介護している家族の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護高齢者の在宅生活の継続及び向上を図る			
本年度事業内容	●家族介護者交流事業 おおむね65歳以上の高齢者を介護している家族の交流事業を行う。事業の実施は、伊賀市社会福祉協議会へ委託する。 年間介護者1人あたり25,000円以内を助成する。				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市家族介護支援事業実施要綱

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	955	1,500	1,500
委託料	955	1,500	1,500
その他			
合計(A+B)	1,675	2,220	2,220
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	716	0	0
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	959	2,220	2,220
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
実施回数	回	8	10	10			
利用者数	人	126	150	200			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
参加者数	参加者数	人	126 目標 (200)	150	200
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会への委託により、介護方法や介護者の健康維持について、専門的な知識を多くに広め、特に精神的負担の軽減を図ることができる。 ・社会福祉協議会の各支所と本所で開催を行っており、交流事業を深めている。 ・今後は委託方法の見直しによる委託料の削減や関係者団体による独自の交流活動実施を促す必要がある。 ・介護予防生活支援事業県補助金は、平成18年度では廃止。

評価	必要性	4	事業のあり方については検討の余地があるものの、介護者家族間の交流の場として、また介護方法の知識を習得する場として、提供していく必要はある。	総合評価 A
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		